

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	農林水産部林務管理課
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

1 指定概要

施設概要	名称	大分県林業研修所	施設種別	農林業振興
	所在地	由布市湯布院町川北899-91		
	設置目的	林業技術の改善及び林業経営の合理化に資するため、林業に関する研修教育を行うとともに、林業後継者、林業従事者等の利用に供する施設として、大分県林業研修所を設置する。		
指定管理者	名称	公益財団法人 森林ネットおおいた		
	代表者名	理事長 大友 進一		
	所在地	大分市花園二丁目6番46号		
指定管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・研修所を利用した研修教育に関する業務 ・研修所の建物及び設備の維持管理及び修繕に関する業務 ・研修所の利用の許可に関する業務 ・その他知事が特に必要と認める業務 			
料金制度	使用料			
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)			

2 評価結果

評価項目	
1 施設の設置目的の達成(有効性の向上)に関する取組み	
(1)施設の設置目的の達成	目標
①計画に則って施設の管理運営(指定管理業務)が適切に行われたか。施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか(目標を達成できたか)。	事業計画に定めた項目を全て滞りなく実施する。 目標指標である、利用者4,000人以上を達成する。
②施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。また、複数の施設を一括して管理する場合は、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。	アンケート結果の反映や研修の充実により、利用者数の増加を図る。
③施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。	事業計画に定めた研修を全て滞りなく実施する。
【評価の理由】	
<p>指定管理業務・研修、自主研修いずれも計画通り実施されており、林業就業に必要な特別教育・技能講習を安定的かつ確実に提供している。目標指標である利用者数は、目標値4,000人に対し令和5年度実績3,850人となっており、目標にはやや届かなかったものの、目標達成率96%と高い水準であったことから、十分な効果を得られていると判断できる。</p>	
<p>② 受講者や林業事業者向けアンケートによるニーズに合った研修計画の立案や、受講生の募集情報をホームページで公開するなど、利便性を高める取組を行っている。その結果、前年度比31%増の利用者数を達成していることから、一定の効果が得られていると思われる。(R4:2,942人)。</p>	
<p>③ 県内林業事業者に対して直接メールやFAX等で募集情報を通知するなど、効果的な広報活動を実施した結果、指定管理研修、自主研修いずれも計画通り実施された。</p>	

(2) 利用者の満足度	目標
① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。	研修受講者全員からアンケートを取得し、4.8以上の満足度を獲得する。
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	アンケート結果を共有し、改善に向けた必要な対策を実行する。
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。	苦情が発生した際は、速やかに対応を行い利用者の理解を得る。また、再発防止策を講じる。
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。	ホームページを通じて施設利用に必要な情報提供を行う。
⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。(①～④以外に評価できる取り組みがある場合のみ)	
【評価の理由】	
<p>① 施設利用者に対し、「満足」、「やや満足」、「どちらとも言えない」、「やや不満」、「不満」の5段階で研修満足度のアンケート調査を実施した結果、研修満足度4.8点以上の研修は86%、平均研修満足度は4.89点と目標の4.8点を上回る水準であった。</p> <p>研修終了後のアンケート結果を都度共有し、県と協議を行いながら、改善に向けて必要な対策を進めている。</p> <p>② 令和5年度はインカムの導入や、指定管理者職員からの提案である伐倒練習機の導入により、講義の改善や研修内容の充実に努めている。また、宿泊利用者からの意見をもとに、洗濯機の買い換えを行い、施設環境設備の改善をおこなっている。</p> <p>③ 今年度、特に苦情は発生しなかった。</p> <p>④ 施設利用の手引きや、各研修の募集情報をホームページで公開するなど、利用者への情報提供は十分になされていた。</p> <p>⑤</p>	
(3) 定性的な目標の達成	目標
① 定性的に定めた目標が達成されているか。(将来ビジョン等で定めた目標など)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修項目の見直しや施設・機械の機能充実の取組 ・林業研修フィールドを確保し、実技研修の充実を図る。 ・新規就業者確保のため広報活動や体験研修等を充実させる
【評価の理由】	
<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度実績や利用者の要望を調査し、研修項目や施設・機械の見直しを行っている ・新たに1カ所の研修所フィールドの確保をおこなった ・林業体験学習の実施やウェブサイトの更新を計画するなど、PRを強化し、魅力発信に努めた 	

2 効率性の向上等に関する取組み

(1)経費の低減等	目標
①施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。	経費の使い方を見直し、必要なサービスを維持しつつ、経費を削減する。
②主たる管理業務以外(清掃、警備、設備の保守点検等)について、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。	再委託している管理業務の管理手法を見直し、経費を削減する。
③経費の効果的・効率的な執行がなされたか。	機械の予防保全を行い、修繕費のかかり増しを防ぐ。

【評価の理由】

- ① 実施内容が類似しており使用機材等が共通している研修を同一時期に実施することで、機材運搬費用や撤去費用などの経費の削減を行っている。また、紙簿冊保存からデータ保存への移行などペーパーレス化を推進し、印刷消耗品費の削減を行っている。
- ② 再委託していた構内環境整備及び管理業務について、委託の必要性や直営による研修業務への影響等について検討した上で、指定管理者の職員により実施することで経費削減を行っている。
- ③ 機械の点検・メンテナンスについて、指定管理者の職員により実施し予防保全に努めている。

(2)収入の増加	目標
①収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。	自主事業の充実により、使用料収入を増加させる。

【評価の理由】

- ① 新規研修の実施など自主事業の充実を図ったほか、新型コロナウイルス「5類」移行に伴い宿泊者数が増加したこと等から、使用料収入は479千円となり、前年度比で50%増加している(R4:319千円)。

3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組み

(1)施設の管理運営(指定管理業務)の実施状況	目標
①施設の管理運営(指定管理業務)にあたる人員の配置が合理的であったか。	必要な人員を確保し、滞りなく施設運営を行う。
②職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか。	研修へ積極的に参加し、資質・能力向上を図る
③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。	実技フィールドを確保するため、周辺地域の関係団体等との連携を図る。

【評価の理由】

- ① 必要な人員を確保し、滞りなく施設運営を行っている。当該期間において苦情は寄せられておらず、アンケート結果からもサービス水準が維持できているものと判断できる。
- ② 職員研修として、研修の管理・運営に関する研修会に参加し、職員の資質向上を図っている。
- ③ 指定管理施設周辺に社有林を所有する民間企業と連携し、実技研修のフィールド確保に努めている。

(2)法令遵守、平等利用、安全対策、危機管理体制など	目標
①関係法令(地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等)が遵守されているか。	法令違反を発生させない。
②施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。	個人情報漏洩等の事故を発生させてない。
③利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。	特定の個人団体を排除しない。 (国や県等からの要請に基づくものは除く)
④施設の管理運営(指定管理業務)に係る収支の内容に不適切な点はないか。	モニタリングの結果、不適切な事案が確認されない。
⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。	管理側の瑕疵による事故を発生させない。
⑥防犯や事故等の危機管理体制、防災士の配置など、防災に係る体制が適切であったか。	各種マニュアルを整備し、体制を確保する。
⑦防災に関する研修・訓練が効果的に実施されていたか。	防災訓練を年に1回行う。
⑧事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。	事故等発生時には適切な対応を行い、管理責任を問われる事象を発生させない。
【評価の理由】	
① 法令違反は発生していない。	
② インターネットセキュリティの強化を実施。個人情報漏洩等のインシデントは発生していない。	
③ 特定の個人団体を排除していない。	
④ モニタリングで不適切な取扱いがないことを確認した。	
⑤ 事故は発生していない。	
⑥ マニュアルを整備しており体制を定義している。	
⑦ 防災訓練を行っている。	
⑧ 事故は発生していない。	

【総合評価】

〔所見〕

研修内容の充実や機器導入・施設整備をおこない、サービス改善を図ったこと等により、アンケート調査満足度は4.89点と、目標の4.8点を上回る高い水準となったと考えられる。また、利用者は3,850人(目標達成率96%、前年比31%増)と大きく増加しており、最大限の施設運用はできていたと評価できる。

〔今後の対応〕

適切な施設の運用はもちろんのこと、今後も林業従事者等の知識・技術向上に寄与する研修実施により一層努めてもらいたい。
今後の林業業界の動向や林業従事者のニーズをふまえた研修、施設利用者の満足度の向上に繋がる取組などを指定管理者と一体となって実施していく。

【指定管理者評価部会の意見】

【評価】

1. ホームページが見やすく利用者が増加していることや、SNSを活用し林業の魅力を県内外へ積極的に発信していることが評価できる。

【意見】

1. 林業従事者だけでなく講師も高齢化が進んでいるため、研修事業の持続可能性にも配慮して後継者の育成を推進してほしい。

【施設所管課に対する意見】

1. 収入増加の数字だけを見るのではなく、支出とのバランスを踏まえて評価を行ってほしい。また、SNSの活用についても活用状況だけでなく、その取組がもたらした効果を交えて評価してほしい。